

第四級海上無線通信士資格取得支援

平成 23 年度「通信教育」及び「直前講習」の実施について

全国船舶無線工事協会 事務局

来る平成 24 年 2 月 24 日（金）に、第四級海上無線通信士の国家試験が予定されています。

全工協では、無線従事者資格の取得を支援する通信教育を平成 18 年から実施していますが、平成 23 年度においても、この国家試験の合格をめざす通信教育及び直前講習を、下記により実施することとしました。

参加を希望される方は、別紙「直前講習」及び「通信教育」参加申込書に必要事項を記載し、平成 23 年 9 月 30 日（金）までに本部事務局まで申し込んでください。

記

- 1 目 的：第四級海上無線通信士の国家試験に合格する知識を習得すること。
- 2 受講の要件：通信教育コース→事務局から送付する問題を解き、解答を提出できること。
直前講習コース→平成 24 年 2 月 20 日（月）から 23 日（木）まで実施する直前講習に参加できること。

3 通信教育コースの実施要領

(1) 実施期間及び通信回数

平成 23 年 10 月 3 日（月）から平成 24 年 2 月 17 日（金）までを 2 週間ずつ 10 回に分け、学習を進めます。

回 数	期 間(前期)	回 数	期 間(後期)
第 1 回	10 月 3 日～10 月 16 日	第 6 回	12 月 12 日～12 月 25 日
第 2 回	10 月 17 日～10 月 30 日	第 7 回	12 月 26 日～ 1 月 8 日
第 3 回	10 月 3 1 日～11 月 13 日	第 8 回	1 月 9 日～ 1 月 22 日
第 4 回	11 月 14 日～11 月 27 日	第 9 回	1 月 23 日～ 2 月 5 日
第 5 回	11 月 28 日～12 月 11 日	第 10 回	2 月 6 日～ 2 月 17 日

(2) 通信教育の学習方法

ア 10 回の無線工学及び法規の「問題用紙」は、前期と後期に分け、5 回分を各受講者に送付します。受講者は、この問題を解き（テキスト使用可）、その結果を、同時に送られる「解答・解答手順用紙」（注）に記入して事務局あて送付してください。

注：この解答用紙には、解答とともに解答を導いた手順、計算方法を記載します。

イ 事務局では、講師がこの解答を採点・添削し、その結果を記載した「解答・解答手順用紙」とその問題の「正答及び解説書」を受講者にお返しします。

ウ 受講者は、事務局から送付された「解答・解答手順用紙」とその問題の「正答及び解説書」を復習し、理解を深めるようにします。

4 直前講習コースの実施要領

- (1) 実 施 日：平成 24 年 2 月 20 日（月）から 23 日（木）までの 4 日間
- (2) 講習時間：1 日 6 時間
- (3) 実施場所：東京都豊島区駒込 2-3-10 電波会館内（ICT 研修センター）
- (4) 講習科目：無線工学及び法規
- (5) 講習内容：各科目とも既出問題及び予想問題を中心に解説する。

5 国家試験の受験手続きについて

平成 24 年 2 月 24 日に実施される第四級海上無線通信士の国家試験受験のための手続き（試験申請書の提出）については、受験者自身において、平成 23 年 12 月 1 日（木）から同 12 月 20 日（火）までの間に行っていただきます（申請手続きの要領は、この手続きが近づいた時に、ご案内します。）。

6 使用するテキスト（全 3 冊）

第四級海上無線通信士用無線工学及び法規標準教科書（情報通信振興会発行）

第四級海上無線通信士国家試験問題解答集（情報通信振興会発行）

7 受講コース及び受講料

受講は、通信教育コース及び直前講習コースのいずれかのみに参加することもできますが、この資格の国家試験に合格する秘訣は、十分時間をかけて既出問題に取り組むことです。初めに通信教育コースを受講し、仕上げに直前講習を受講することをお勧めします。

会員、受講コース及び受講科目の区分による一人当たりの受講料は次のとおりです。

区 分	全コース受講	直 前 講 習 コ ー ス		通 信 教 育 コ ー ス	
		法規のみ	工学のみ	法規のみ	工学のみ
一 般	55,000 円	30,000 円		45,000 円	
		15,000 円	20,000 円	30,000 円	30,000 円
全工協会員 全無協会員	45,000 円	20,000 円		35,000 円	
		10,000 円	15,000 円	20,000 円	20,000 円

注1 受講料には、受講代、テキスト代、受講者からの通信費（10 回分）及び国家試験申請書用紙代が含まれます。

注2 受講料には、国家試験申請料、無線従事者免許申請料及び直前講習の交通費・宿泊費は含まれません。

注3 受講料の支払は、受講手続きの時に受講料の全額を払っていただきます（金融機関手数料は振込者の負担）。受講の取消は、当協会が発行する通信教育受講票、テキスト等が到着後 8 日以内であれば取消料不要で応じます。ただし、テキスト等の返送料及び金融機関手数料は取消希望者の負担とします。

8 受講手続き

(1) 参加申込書への記載と郵送

別紙「直前講習」及び「通信教育」参加申込書に必要事項を記載し、受講料の振込証の写しを添えて、次の宛先に封書により郵送してください。

(2) 受講料の額と支払い

宛先：〒170-0003 東京都豊島区駒込 2 丁目 3 番 10 号 社団法人 全国船舶無線工事協会

受講料の支払いは、7 に掲げる受講料の額を、社団法人 全国船舶無線工事協会の次の振込先のいずれかに振り込んでください。

① 三菱東京UFJ銀行 駒込支店 普通預金 口座番号 1026749

② 郵便振替 00160-3-2824

9 その他

直前講習コースについては、12 月末までの参加希望者が 20 名に達しない場合は中止することもあります。その時は参加希望のあった方に連絡させていただきますので、予めご了承願います。

主 催：社団法人全国船舶無線工事協会

電話：03-3915-0183 FAX：03-3915-6360

ホームページ <http://www.zkk.or.jp/>

4 海通 e-mail 4kai-h23@zkk.or.jp

協 賛：社団法人全国漁業無線協会

電話：03-5688-3371 FAX：03-5688-3373

平成 23 年度 第四級海上無線通信士資格取得支援

「直前講習」及び「通信教育」参加申込書

平成 23 年 月 日

社団法人 全国船舶無線工事協会
会長 菊川 亘 殿

申込者の氏名



わたくしは、貴協会主催の第四級海上無線通信士資格取得講習会に別添資料を添えて申し込みます。

受講の内容	1 全コース受講 2 直前講習コースのみ (1) 工学のみ (2) 法規のみ 3 通信教育コースのみ (1) 工学のみ (2) 法規のみ
参加者の氏名及び性別	フリガナ (1. 男 2. 女)
生年月日及び年齢	昭和・平成 年 月 日 (歳)
参加者の住所	〒 _____
教材の送付先(住所と同じ場合は省略可)	〒 _____
電子メールアドレス(使用できる場合のみ記入)	
会員・非会員の別	1. 会員(全工協又は全無協) 2. 非会員
会員名(会員の方のみ記入)	
最終学歴	
無線従事者資格の有無(資格の種別)	1. 有り () 2. 無し
四海通の科目合格の有無	1、有り (科目名:) 2. 無し
船舶無線整備士の有無(資格の種別)	1. 有り () 2. 無し
連絡先(日中連絡が取れる所)	勤め先等の名称 電話番号: FAX番号:

添付資料: 受講料の振込証の写し